

子どもと女性の
健康相談室

60



福島医大ふくしま子ども・
女性医療支援センター教授
西郡 秀和氏

親子の愛着形成について、ボンディングとアタッチメントという言葉が、子どもの間に強い絆が形成されることで、より積極的な子育て行動や、子どもに抱く情緒的な絆の欠如であり、養育の拒否、ネグレクト、身体的虐待、身体的虐待、ボンディング障害の

メンタル不調把握を

あります。

ボンディングとは親子ともに対する情緒的な絆のことをいいます。アタッチメントは出生後の子どもから親に向けた愛着形成の行動です。

子どもの認知、神経行動発達の改善につながると考えられています。

産後の抑うつはよく知られていますが、産後にボンディング障害があることもわかっていました。ボンディング障害は、わが子を愛おしく思い、親として守ってあげたいと思つ、といった親が子ども

ボンディングは、すでに妊娠前から胎児に対して始まっています。親と

もに抱く情緒的な絆の欠如へと発展する可能性があります。

ります。ボンディング障害の

赤ちゃんの気持ち質問票(最高30点)

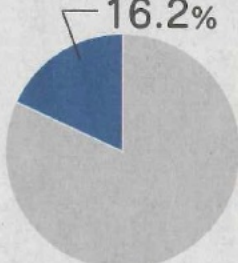
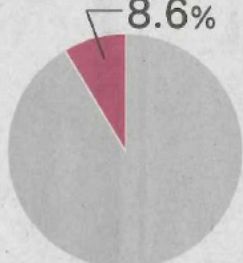
目安として5点以上はボンディング障害を要注意

母親

父親

5点以上
8.6%

5点以上
16.2%



子どもの健康と環境に関する全国調査
(エコチル調査)・追加調査より

スクリーニング方法として、「赤ちゃんの気持ち質問票」があり、母親では5点以上が要注意という報告もあります。われわれの行った調査では、**図**に示したように、産後一カ月の時点で、母親は8.6%、父親は16.2%が5点以上でした。つまり、ボンディング障害は珍しくないのではなく、しかも母親のみならず父親のメンタルケアも大切であることがわかりました。

ボンディング障害の背景には、抑うつ、ドメスティックバイオレンスなどの要因がしばしばみられます。それぞれの状況に応じて医療と行政の母子保健などの関係者が協力して親のメンタル不調の把握や良好な親子交流への支援を提供することが大切です。

親子の愛着形成

次回4月19日掲載